

発表日 平成22年2月2日

担当課:商工部新産業・技術振興課

直通:092-643-3448

内線:3737

担当者:平野・秋田

世界最先端の水素情報を発信！「水素先端世界フォーラム2010」

～ 参加者・参加国過去最多！水素社会実現を先導する地域戦略を紹介 ～

福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議 1では、「環境にやさしい水素エネルギー社会 2」を実現するため、(1)九州大学を中核とした世界最先端の「研究開発」、(2)「福岡水素タウン 3」「水素ハイウェイ 4」をはじめとした先導的な社会実証、(3)全国唯一の「水素人材育成」、(4)「水素エネルギー新産業の育成・集積」、(5)「世界最先端の水素情報拠点の構築」を柱とした『福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)』を展開しています。

このたび、世界最先端の水素情報拠点活動として、(独)産業技術総合研究所、九州大学と共催で2月3日～4日に「水素先端世界フォーラム2010」を開催します。このフォーラムは、世界的な研究開発拠点である産業技術総合研究所『水素材料先端科学研究センター』の研究成果をはじめ、水素に関する最新の情報を発信する唯一の世界フォーラムで、今年4回目を迎えます。

2月3日(水曜)午前は「水素エネルギー社会実現に向けた世界の地域戦略」と題し、日・米・欧の三極を代表する地域から、世界を先導する戦略・取り組みを紹介します。

日本を代表する福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議からは、水素エネルギーの開発・普及を総合的に推進する世界最先端の「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」を紹介します。欧州を代表する「ドイツNRW州」からは、350機関が参加する欧州最大の産学官連携組織「Fuel Cell and Hydrogen Network NRW」が取りまとめた、水素エネルギー実用化戦略を紹介します。北米を代表する「カナダ水素・燃料電池協会」からは、来週12日から始まるバンクーバーオリンピックに向け整備された「水素ハイウェイ」の取り組みなどを紹介します。

3日午後には、九州大学と産業技術総合研究所『水素材料先端科学研究センター』から生まれた最新の研究成果が発表され、さらに翌4日(木曜)は、場所を九州大学伊都キャンパスに移して、個別研究テーマごとに活発な議論が行われます。

参加者、参加国は回を追うごとに増え、今回は、過去最多の450名(海外22カ国61名)が「水素の拠点ふくおか」に結集します。

- ・第1回 320名(海外5カ国12名)
- ・第2回 400名(海外10カ国15名)
- ・第3回 420名(海外13カ国34名)
- ・第4回 450名(海外22カ国61名)

福岡県では、戦略会議と連携して、今後とも「福岡水素戦略」を強力に推進し、先端成長産業である水素エネルギー・燃料電池分野の育成・拠点化を実現します。

1:福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織(2004年8月発足)。

2010年2月1日現在、576企業・機関が会員として参加。

会長は、新日本製鐵株式会社 黒木 啓介(くろき けいすけ)代表取締役副社長。

2:水素エネルギー

「水素」を、「酸素」と反応し得られるエネルギー。

生成物は「水」のみで、利用段階で二酸化炭素を全く発生しないことから、地球温暖化対策の切り札として期待。

3:福岡水素タウン

家庭用燃料電池を集中的に設置する世界最大の「水素タウン」。

新日本石油株式会社、西部ガスエネルギー株式会社と共同し、糸島市(旧前原市)の「南風台(みなかぜだい)団地」「美咲(みさき)が丘団地」の150世帯を対象に、LPガスを燃料とする家庭用燃料電池を平成20年度に設置。約4年間にわたり省エネ効果などを検証。

100世帯を超える規模で家庭用燃料電池を集中設置するのは、世界初の取り組み。

4:水素ハイウェイ

福岡～北九州間において、次世代自動車として期待される燃料電池自動車・水素エンジン車の実証走行を可能とするため、「九州大学水素ステーション(福岡市西区元岡,九州大学伊都キャンパス内)」「北九州水素ステーション(北九州市八幡東区東田)」を整備。

「水素・燃料電池実証プロジェクト(JHFCプロジェクト)」と連携して、水素供給並びに普及啓発活動を実施。

国等と連携して、将来的には、東京への延伸を目指す。

～開催概要～

会 期:

平成22年2月3日(水曜)～2月4日(木曜)

場 所:

2月3日 グランドハイアット福岡(福岡市博多区住吉1-2-82 キャナルシティ博多内)

2月4日 九州大学伊都キャンパス

主 催:福岡県、福岡水素エネルギー戦略会議

独立行政法人 産業技術総合研究所、国立大学法人 九州大学

行事次第:

【2月3日(水曜)】

9時30分～9時50分 「開会式」(日英同時通訳あり)

主催者挨拶:産業技術総合研究所 矢部 彰 理事

九州大学 有川 節夫 総長

福岡水素エネルギー戦略会議 松村 幾敏 副会長(新日本石油(株))

来賓挨拶 :経済産業省資源エネルギー庁 飯田 健太 燃料電池推進室長

9時50分～12時 講演「水素エネルギー社会実現に向けた世界の地域戦略」(日英同時通訳あり)

水素エネルギー社会の実現に向けた、日米欧の先進的な地域戦略を紹介。

講 師:

(日本)福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議 麻生 渡 福岡県知事

(米国)カナダ水素・燃料電池協会 代表兼CEO ジョン・W・タック氏

(欧州)Fuel Cell and Hydrogen Network NRW 代表 アンドレア・ズィオレック博士

12時50分～17時10分 講演「水素研究の最前線」(日英同時通訳あり)

「福岡水素タウン」「水素ハイウェイ」の発表

HYDROGENIUSを中心とする最新の研究開発動向の発表。

発表者:米国エネルギー省 水素供給プログラム・マネージャー モントレー・ガーディナー博士

HYDROGENIUS招へい研究者等

17時30分～19時 レセプション

乾杯挨拶 :九州経済産業局 橘高 公久 局長

中締め挨拶:イリノイ大学ペトロス・ソフロニス教授

* ロビーには、福岡での取り組みを紹介する展示ブースを設置

【2月4日(木曜)】

HYDROGENIUS 研究チーム毎の研究ワークショップ、九大研究施設見学

参加申込書

ファクスでお申し込みの方は、枠内をご記入の上、092-716-7143 まで送信してください。

■ 企業名・団体名・学校名	
■ ご所属・役職	
■ お名前 ふりがな	
■ ご住所 〒	
■ 電話番号 () -	
■ ファクス番号 () -	
■ E-mail @	

2月3日(水) 9:50~12:00 セッション1	※左右いずれかをチェックください <input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
2月3日(水) 13:30~17:15 セッション2	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
2月3日(水) 17:30~19:00 レセプション(参加費5,000円/1名様)	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
2月4日(木) 研究シンポジウム	
1 10:00~17:30 水素材料強度特性・水素高分子材料・水素シミュレーション研究チーム	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
2 12:00~17:30 水素トライボロジー研究チーム	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
3 10:00~17:30 水素物性研究チーム	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
4 10:00~17:30 燃料電池シンポジウム	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
2月4日(木) 10:00~12:00 研究施設見学	<input type="checkbox"/> 参加 <input type="checkbox"/> 不参加
送迎バスのご利用を希望される方は、事前申し込みの上、2/4(木) 8:45までに、グランドハイアット福岡1Fロビーにお集りください。 (座席数に限りがありますので定員になり次第締め切ります。)	<input type="checkbox"/> 申込み
次回以降、類似のイベントを実施の際にご案内させていただきたく存じますが、お差し支えのある方は右の空欄にチェックしてください。	<input type="checkbox"/>

◎参加お申し込み方法

ホームページオンラインフォーム、Eメール、TEL、FAXにてお申し込みください。

U R L <http://www.congre.co.jp/hydrogen2010/>

T E L 092-716-7116 FAX 092-716-7143

E-mail hydrogen2010@congre.co.jp

締め切り

平成22年1月22日(金)

会場の都合上、定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込み下さい。

参加費無料

平成22年2月3日(水)

レセプションのみ参加費
5,000円/1名様

※費用は当日、現金にて徴収いたします

水素先端世界フォーラム2010運営事務局

〒810-0001 福岡市中央区天神1-9-17 グヴィンチ福岡天神5F 株式会社コングレ内 担当:木村、山本

※ご記入いただいた情報は、主催団体からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。

ACCESS MAP アクセスマップ



福岡市営地下鉄ご利用

- 「福岡空港」より乗車(約5~10分間隔で運行)
→「博多」(約5分)で下車、徒歩約10分、またはバス約3分
→「中洲川端」(約10分)で下車、徒歩約10分

西鉄バスご利用

- 天神・博多駅⇄キャナルシティ博多間 約5分間隔で西鉄循環バスなどが運行中。
バス停は「キャナルシティ博多前」で、同名のバス停が往復合わせて4カ所ございます。



福岡空港から

- 「福岡空港」駅(姫浜・唐津方面行)→姫浜からJR筑肥線→「九大学研都市」駅下車、昭和バス「九大工学部前」行に乗車

博多駅から

- 「博多」駅(姫浜・唐津方面行)→「九大学研都市」駅下車、昭和バス「九大工学部前」行に乗車
○「博多駅A」停留所から直行バス(西鉄バス「急行」九大伊都キャンパス(工学部前)行)に乗車

天神から

- 「天神」駅(地下鉄空港線:姫浜・唐津方面行き乗車)→「九大学研都市」駅下車
→昭和バス「九大工学部前」行に乗車
○「天神2B(ソラリアステージ)」および「天神北(3)」停留所から
直行バス(西鉄バス「急行」九大伊都キャンパス(工学部前)行)に乗車

◎主催

独立行政法人 産業技術総合研究所 水素材料先端科学研究センター、福岡水素エネルギー戦略会議、福岡県、国立大学法人 九州大学

◎後援

独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構、水素エネルギー協会、燃料電池開発情報センター、燃料電池実用化推進協議会、公益財団法人 水素エネルギー製品研究試験センター

◎お問い合わせ先

株式会社コングレ 〒810-0001 福岡市中央区天神1-9-17 グヴィンチ福岡天神5F

TEL.092-716-7116

<http://www.congre.co.jp/hydrogen2010>



INTERNATIONAL
HYDROGEN
ENERGY
DEVELOPMENT FORUM
2010

地球の未来を拓く水素エネルギー



水素先端世界フォーラム2010

平成22年 2月3日(水)・4日(木)

◎会場: 2月3日

グランドハイアット福岡

〒812-0018 福岡市博多区住吉1-2-82

◎会場: 2月4日

九州大学 伊都キャンパス

〒819-0395 福岡市西区天宮744

参加無料
レセプション
参加費別途



2/3水

水素先端世界フォーラム2010

◎場所: グランドハイアット 福岡 ◎内容: セッション1(午前)とセッション2(午後)の2部構成による講演及びレセプション
◎言語: 日本語、英語(セッション1・セッション2とも日・英同時通訳付。) ◎参加費: 無料(但しレセプションは会費制) ◎定員: 350名程度

9:30~9:50 ○開会式(主催者挨拶、来賓者挨拶)

9:50~12:00 ○セッション1

「水素エネルギー社会実現に向けた世界の地域戦略」日米欧各地域を代表する産学官連携組織が、水素エネルギー社会の実現に向けた独自の地域戦略を紹介。



9:50~10:30

麻生 渡 氏 (福岡県知事、福岡水素エネルギー戦略会議 顧問)

水素・燃料電池分野で日本最大の産学官連携組織に成長した「福岡水素エネルギー戦略会議」を中核に水素エネルギー社会の実現に取り組む福岡から、水素エネルギーの開発・普及を総合的に推進する「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」を紹介。



10:35~11:15

Mr. John W. Tak (カナダ水素・燃料電池協会(CHFCA)代表兼CEO)

カナダにおける水素・燃料電池分野の主要な産学官が参加するカナダ水素・燃料電池協会から、カナダのプライベートセクターの活動と政府の水素・燃料電池分野のプログラムを紹介。

11:20~12:00

ドイツNRW州 (講師調整中)

欧州第1のエネルギー供給・消費地域であり、再生可能エネルギーに積極的に取り組むドイツNRW州から、350もの産学官で構成されるFuel Cell and Hydrogen Network NRW(FCHN NRW)を中心に進める州独自のプロジェクトやドイツ連邦政府の政策などを紹介。

13:30~17:15 ○セッション2

「水素研究の最前線」世界各国から招聘した研究者らによる、各国の研究開発動向、研究成果発表等をテーマとした講演。本研究センター研究チーム長による最新の研究成果報告。



Prof. Robert O. Ritchie (Univ. of California)

材料の疲労亀裂や亀裂メカニズムの分野における研究で著名。現在はカリフォルニア大学バークレー校で活躍中。材料に関する種々の委員会のメンバーを務めるかたわら、精力的に研究を進め、アメリカ機械工学会や米国材料試験協会をはじめ学協会賞の受賞歴多数。



Prof. Petros Sofronis (Univ. of Illinois)

材料の水素脆化の研究に20年近く取り組み、現在はイリノイ大学材料研究所の教授として活躍中。水素による材料中の亀裂生成を初めて合理的に理論として説明。米国国立科学財団賞やフォード自動車賞など受賞歴多数。



Dr. Brian P. Somerday (Sandia National Lab)

1997年から現在まで米国のサンディア国立研究所の物理学センターに勤務し、米国エネルギー省が推進する水素エネルギーの実用化に向けた安全、規制、規格策定に関する事業に参画している。専門分野は水素が金属材料に与える影響の科学的解析及び評価。



Prof. Jader Furtado (Air Liquide CADC)

世界各国で水素などのガス供給を行うAir Liquide社の研究者。主に水素雰囲気下における金属と合金の疲労に関する研究に取り組んでいる。2008年10月より特任教授として九州大学に招聘されている。水素技術に関する国際標準化の策定にも中心的な役割を果たしている。



松岡 三郎 氏

(水素材料先端科学研究センター
水素材料強度特性研究チーム長、
九州大学大学院工学研究院教授)

金属疲労研究に30年以上取り組み、水素脆化や水素疲労のメカニズム解明に携わる。また、「霞ヶ関水素ステーション蓄圧器の健全性評価」の実証試験、民間企業の研究者との定期的情報交換などを通じ、安全な水素エネルギー社会の実現を目指している。



西村 伸 氏

(同センター
水素高分子材料研究チーム長、
九州大学大学院工学研究院教授)

専門分野は高分子化学、物理化学。高圧水素環境下におけるゴム・樹脂材料の破壊挙動と使用環境、材料組成や分子構造との相関を検討し、耐水素特性に優れた材料開発指針の確立を目指している。



杉村 丈一 氏

(同センター
水素トライボロジー研究チーム長、
九州大学大学院工学研究院教授)

トライボロジーと機械設計の分野の研究と教育に従事。水素雰囲気におけるトライボロジー、超薄膜潤滑におけるナノ粗さの働き、表面構造のモデル化と界面潤滑を利用した潤滑機構などの研究テーマに取り組んでいる。2006年まで、九州大学水素ステーションの研究総括代表を務めた。



高田 保之 氏

(同センター
水素物性研究チーム長、
九州大学大学院工学研究院教授)

熱工学・熱物性を専門とし、水素関係では高圧水素物性の測定、超高圧水素のPVT関係・粘性係数・熱伝導率などの物性値を測定する研究に取り組む。また2007年10月から2008年2月まで、佐賀県唐津市の「地域新エネルギービジョン策定委員会」委員長を務めた。

17:30~19:00 ○水素先端世界フォーラム レセプション 参加費: 5,000円/1名様

2/4水

研究シンポジウム

10:00~17:30

◎場所: 九州大学伊都キャンパス内会場 (研究チームにより異なります。)
◎内容: 世界各国の研究者による研究成果発表をはじめ、本研究センター各研究チーム並びに九州大学水素関連の研究者による研究発表を中心としたシンポジウム
◎言語: 英語 ◎参加費: 無料 ◎定員: 各50~100名程度 (研究チームにより異なります。)

1. 水素材料強度・高分子材料・シミュレーション研究チーム
International HYDROGENESIS Symposium: Hydrogen-Materials Interaction
時間: 10:00~17:30

2. 水素トライボロジー研究チーム
HYDROGENESIS Tribology Symposium
時間: 13:30~17:30

3. 水素物性研究チーム
Workshop on Thermal Issues for Hydrogen Energy Systems
水素・燃料電池システムの熱問題に関するワークショップ
時間: 10:00~17:30

4. 九州大学燃料電池ワークショップ
Kyushu University Fuel Cell Workshop
時間: 10:00~17:30

研究施設見学

10:00~12:00

◎場 所: 九州大学伊都キャンパス他
◎内 容: 水素材料先端科学研究センター、九州大学伊都キャンパスの関連施設等
◎参加費: 無料
◎定 員: 100名程度
◎送迎バス: 2/4(水)にGrandハイアット福岡~九州大学伊都キャンパス間の送迎バスを運行します。ご利用を希望される方は、事前申し込みの上、2/4(木)8:45までに、Grandハイアット福岡1Fロビーにお集りください。(座席数に限りがありますので定員になり次第締め切ります。直接お越しの場合は伊都キャンパスHY30棟前に9:50までに集合ください。)

講演者、プログラム内容、スケジュール等は変更の可能性がございます。最新の情報につきましては、随時ホームページに掲載してまいります。ホームページをご確認いただくか事務局までお問い合わせください。

◎お問い合わせ先
TEL.092-716-7116 (株式会社コングレ内 担当:木村、山本)
◎「水素先端世界フォーラム2010」ホームページアドレス
<http://www.congre.co.jp/hydrogen2010/>

福岡水素エネルギー戦略会議

Fukuoka Strategy Conference for Hydrogen Energy

福岡水素戦略 ～Hy-Life プロジェクト～

福岡水素戦略の推進組織 Promotion Organization of Fukuoka Hydrogen Strategy

福岡水素エネルギー戦略会議

設立 平成16年8月3日
顧問 麻生 渡 (福岡県知事)
有川節夫 (国立大学法人九州大学総長)
北橋健治 (北九州市長)
橋高公久 (九州経済産業局長)
羽矢 惇 (新日鉄エンジニアリング株式会社 代表取締役社長)
吉田 宏 (福岡市長)
会長 黒木啓介 (新日本製鐵株式会社 代表取締役副社長)
副会長 上羽尚登 (岩谷産業株式会社 専務取締役)
松村幾敏 (新日本石油株式会社 代表取締役副社長執行役員)
村上敬宜 (九州大学 理事・副学長)
渡邊浩之 (トヨタ自動車株式会社 技監)
幹事会 会員中核企業などで組織
事務局 福岡県商工部新産業・技術振興課



福岡水素戦略の全体概要 Whole of Fukuoka hydrogen strategy outline



福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に協働いただける企業・機関等を求めています!

問い合わせ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課)
〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号
TEL : 092-643-3448 ・ FAX : 092-643-3436
E-mail : info@f-suiso.jp URL : http://www.f-suiso.jp

福岡水素エネルギー戦略会議

Fukuoka Strategy Conference for Hydrogen Energy

福岡水素戦略

～Hy-Life プロジェクト～

はじまります。
水素エネルギーを利用した新生活。

〈九州大学伊都キャンパス〉
(福岡市西区元岡)



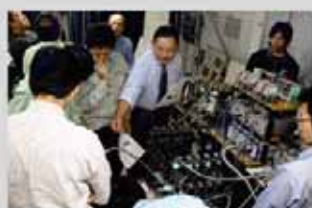
九州大学水素ステーション



産業技術総合研究所
水素材料先端科学研究センター (HYDROGENIUS)



九州大学水素エネルギー
国際研究センター



福岡水素エネルギー
人材育成センター

〈北九州地区〉



北九州水素ステーション
(北九州市八幡東区東田)

【実証走行中の水素自動車】



トヨタFCHV-adv
(北九州市役所)



マダカメジャー/ドジョーンRE/ブリッド
(岩谷産業(株)、(株)安川電機)

北九州水素タウン 平成21年度開始

〈福岡地区〉



知事公舎での
家庭用燃料電池実証



トヨタFCHV-adv
(福岡県庁)

〈糸島地区〉



水素タウンの整備
(糸島市南風台・美咲が丘)



水素エネルギー製品研究
試験センター (HyTReC)
(糸島市富)



福岡水素戦略 (Hy-Life プロジェクト) に協働いただける企業・機関等を求めています!

問い合わせ先

福岡水素エネルギー戦略会議事務局 (福岡県商工部新産業・技術振興課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL: 092-643-3448 • FAX: 092-643-3436

E-mail: info@f-suiso.jp URL: http://www.f-suiso.jp